

主な内容

- 臨時特急「踊り子号」運行情報……………2面
- 狂犬病予防注射(集合注射を実施)……………2面
- 3月1日からアイバス増便……………2面
- 3.11鎮魂竹宵の集い2019……………3面
- 市内一斉防犯パトロールを実施……………4面
- すこやかちゃん募集……………5面
- 第5回ふるさと産品まつり……………5面

東日本大震災 平成23年3月11日 14時48分我孫子市震度5弱

あれから8年。その時、何が起きたのか。

地域のつながりを語り継ぐ

根本米店を営む
根本貢一さんが語る

地震発生後、お店も自宅も傾き、周辺は今までに見たこともない光景になっていました。病院や介護施設などへ配達するお米はあったのですが停電のため精米機を動かさず困っていたところ、近所の建設屋さんが発電機を持ってきてくれて無事届けることができました。水道などのライフライン



次世代へ引き継ぐ

布佐中学校2年生だった
齋藤千遥さんが語る

阪神淡路大震災の時は生まれていなくて、災害は他人事でした。しかし、東日本大震災の時には、大きな揺れで集団下校することになり、変わってしまった景色を見て、地震の怖さを知



りました。震災後の避難訓練は、みんなが真剣に取り組むようになったことを覚えています。大学4年生になり就職を考えた時、震災を経験した自分だからできることをしたいと思うようになりました。震災を体験していない子どもたちも増えていると思います。子どもたちには、ふさ復興会館などを見て、こんなことがあったんだなということを知ってほしいです。

音楽で語り継ぐ

布佐中学校吹奏楽部の顧問だった
青井眞吾さんが語る

学区を中心に地元の皆さんを体育館に招いて開く「第2回布佐中バンド春のコンサート」直前に被災。まちは復旧に追われて開催はもう諦めていました。ところが、被災した方から「先生、やらなきゃだめだよ」「去年のように音楽聴かせてね!」との



声をもらい、保護者からの後押しも受けて思い切って開催しました。終演後、一余震が怖くて家にこもっ

市職員が語り継ぐ

消防署の河村良治警防課長、
田村秀信警防副隊長が語る

当時、非番でしたが、布佐の近くにいたので、急いで消防署に向かい、被害状況を確認しました。特に



都地区では、液状化など被害がひどく、動画や写真を撮り現地の情報を消防本部に送りました。消防のほか、我孫

子警察署や道路課、水道局などと協力し、復旧作業に取り組んだことを覚えていきます。また、1軒ずつ、逃げ遅れた方がいないか確認していた際、周りの方が、「あの家にはおばあちゃんがいっぱいいる」と声をかけてくれたことで、動けなかった方を無事救助することができました。皆さんの協力を改めて実感しました。



情報の入手方法や避難所・避難場所を確認

○防災行政無線が聞こえづらい時は

- ・フリーダイヤル ☎0120-031-676※放送後約1時間経過後、または次の放送がされた場合には、情報が入れ替わります。
- ・メール配信サービス メールで市からのお知らせを配信するサービスです。

【新規登録・変更方法】

abiko-reg@kmel.jpへ空メールを送信すると、折り返し登録案内メールが返信されます。

右記QRコードを読むとメールが送信できます。



○避難所・避難場所などを表示した「あびこハザードマップ」はすぐわかる場所に保管しましょう。

お持ちでない場合は、市民安全課、各行政サービスセンターでも配布しているほか、市ホームページでも掲載しています。

☎ 市民安全課・内線217

災害発生時の心得

○むやみに移動を開始しない

◎身の安全を確保し、職場や集客施設などの安全な場所にとどまる◎災害用伝言サービスで、家族の安否などを確かめる◎交通情報や被害情報などを入手する

○日ごろから準備すること

◎携帯ラジオや地図を持ち歩く◎スニーカーや懐中電灯、手袋、飲料水や食料などを用意する◎家族などと安否確認の方法、集合場所、帰宅経路の状況を確認しておく

電話de詐欺 あなたは狙われている!

電話で「お金」や「キャッシュカード」の話がでたら、それは「詐欺」です。自分だけで解決せず、家族や警察に相談を! ☎ 我孫子警察署☎7182-0110